

### 事前評価調書

I 事業概要																																														
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																													
地区名	主要地方道名古屋岡崎線 <small>なごやおかざき</small> （豊田市堤本町工区 <small>とよたしつづみほんまち</small> ）																																													
事業箇所	豊田市堤本町 <small>つづみほんまち</small>																																													
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋岡崎線と一般県道宮上知立線が交差する「堤本町本地」<small>つづみほんまちほんぢ</small>交差点は、近隣に自動車産業における主要工場や多くの物流施設が立地している。当該交差点は交通が集中する主要な交差点であるが、右折レーンがなく、右折車の滞留により後続直進車の進行を阻害し、渋滞が発生しているほか、急減速や追突事故を誘発していることから、「豊田市交通事故多発地点対策計画」にも事故対策箇所として選定されている。</p> <p>こうした背景から、本事業は交差点改良を実施することにより、交通円滑化及び交通事故の削減を図るものである。</p>																																													
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化 ②交通事故の削減</p> <p>【副次目標】</p> <p>-</p>																																													
事業費	事業費		内訳																																											
	0.9億円		■工事費 0.6億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.1億円																																											
事業期間	採択予定年度	2022年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2024年度																																								
事業内容	・交差点改良 L=300m																																													
II 評価																																														
①事業の必要性	1) 必要性	右折レーンがないため、右折車の滞留により直進車の通行を阻害されている。この状況が急減速や追突事故を誘発しており、危険な状況にあるため、交差点改良の実施が必要である。																																												
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>交通円滑化及び交通事故の削減を図るため、交差点改良が必要である。</p>																																											
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種区分</td> <td>測量・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">0.9</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>							2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	測量・設計	←→							用地補償		←→						工事			←→				事業費（億円）		0.9					0.9
			2022	2023	2024	2025	2026	合計																																						
工種区分	測量・設計	←→																																												
	用地補償		←→																																											
	工事			←→																																										
事業費（億円）		0.9					0.9																																							
2) 地元の合意形成	地元からの整備要望の声が強く、地元の合意形成は円滑に図られる環境にある。																																													

判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できる。
III 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業箇所における交通円滑化の状況</li> <li>・交通事故の発生状況の変化</li> </ul>		